

TSUNAMI通信

よこはま高度実装技術コンソーシアム 創立3周年記念シンポジウム ご報告！

9月29日(火)、横浜シンポジアにおきまして、「変革期の産業技術戦略」をテーマに「よこはま高度実装技術コンソーシアム(YJC) 創立3周年記念シンポジウム」が開催されました。当日は実装技術関係者、大学関係者を中心に115名の方々にお集まり頂きました。夜は交流の場が設けられ、参加者の方々は活発な意見交換、情報交換をされていました。ベンチャー支援機構TSUNAMIは運営担当として、また弊社グループは協賛企業としてシンポジウム開催に関わっておりましたので、簡単ではございますが、当日の様子をお伝えいたします。

日 時: 平成 21 年 9 月 29 日(木)

場 所: 横浜シンポジア
(産業貿易センタービル9階)

主 催: よこはま高度実装技術コンソーシアム
(運営担当: 特定非営利活動法人 YUVEC、
特定非営利活動法人ベンチャー支援機構 TSUNAMI)
共 催: 国立大学法人横浜国立大学
後 援: 神奈川県、tvk(テレビ神奈川)

協賛企業: (順不同)
(株) 図研、東北大学同窓会関東支部、
(株)メイコー、(株)PALTEK
台日産業技術合作促進会、
(株)TSUNAMI ネットワークパートナーズ、
(株)TSUNAMI オンザロード

第1部 13:00~17:00 講演及び活動報告

はじめに、YJCの白鳥正樹理事長より主催者挨拶が行われ、3周年に至る歩みが紹介されました。リーマンショック後の日本経済の脆弱ぶりを意識して「変革期の産業技術戦略」というテーマを設定されました。続いて、神奈川県政策部総合政策課科学技術・大学連携室長の船本和則様と、横浜国立大学産学連携推進本部副本部長の中野孝昭教授よりご挨拶を頂きました。

今回は基調講演として、テレビ朝日のサンデープロジェクト等で有名な経済ジャーナリストの財部誠一氏より、「政権交代で日本の産業戦略はどう変わるのか」と題して講演して頂きました。財部氏は、民主党の足もとの経済認識の鈍さや成長戦略への物足りなさを指摘しながらも、今回の政権交代は自民党による政官業癒着の予算編成を打破する画期的な転換点になりうるとの事でした。また、経済危機の中で中国をはじめアジアという大きな市場に目を向けることの重要性を指摘されていました。

引き続き、最先端の研究に従事されているお2人の先生より一般講演が行われました。まずは横浜国立大学工学研究院の河野隆二教授より、「医療 ICT システム・デバイスに求められるデベンドブル実装」と題してご講演頂きました。コアとなる生体センサーや医療デバイスから成るボディエリアネットワークと、通信インフラをつなぐ次世代のユビキタス医療の実現を目指し、研究を重ねているとのこと。次に、東京理科大学総合科学技術経営研究科の板生清教授より、「快適・安心環境をもたらすウェアラブルエレクトロニクス」と題してご講演頂きました。今後、服として装着可能なコンピューターの時代が到来し、様々な生体情報や環境情報のセンサーネットワーク化が可能になるとの事です。快適環境システムとして電子冷暖房のベストを実際に開発しています。

最後に、YJCの活動報告として横浜国立大学工学研究院の羽深等教授よりYJCの役割とJISSOスクールの歩み、宮代文夫理事から、高度実装スクールの歩みや高度実装技術セミナー及びパワーエレクトロニクス研究会について紹介がされました。



白鳥正樹理事長



会場の様子



中野孝昭教授



財部誠一氏



河野隆二教授



板生清教授

第2部 17:00~19:00 懇親の部

第2部はレセプション会場において軽食をとりながらの懇親会となりました。7月に日本ベンチャーキャピタル協会の会長に就任した、TSUNAMI ネットワークパートナーズ社長の呉雅俊より挨拶があり、ベンチャー支援の現状について話がありました。続いてゲストとしてメリルリンチ日本証券投資銀行部門副会長の佐藤文昭氏よりご挨拶がありました。その後は、参加者の皆様の間で活発な交流や意見交換が行われました。



感想

「変革期の産業技術戦略」のタイトルに相応しく、今後の方向性を予感することのできたシンポジウムでした。厳しい経済環境にあっても、日本の技術の優位性を発揮できる分野はまだあると感じました。そのためには実装技術の更なる飛躍が望まれ、今後のYJCの活動にも期待したいと思います。

今回は、多くの方にお越し頂きまして誠にありがとうございました。

(株)TSUNAMI ネットワークパートナーズ
(株)TSUNAMI オンザロード
(TEL) 045-470-8088
(FAX) 045-470-8090
井 汲 / 飯 塚 / 吉 岡